まほろば秦野通信

平成３１年1月１８日

タイトル	**いつ起きるかわからない災害に備え 避難所開設・運営訓練を実施します**
Ｗｈｅｎ （いつ） Ｗｈｅｒｅ （どこで）	市内小学校１３校及び中学校９校（２２か所） １月１９日（土曜日）午後０時４５分～午後４時半 カルチャーパーク総合体育館 １月２０日（日曜日）午後０時４５分～午後４時半
Ｗｈｏ （だれが）	自治会を中心に組織する避難所運営委員会の委員約５５０名施設管理者、学校教職員約７０名、市職員地区配備隊約２１０名及び防災課職員１０名　　合計約８４０名
Ｗｈａｔ （なにを） Ｈｏｗ （どのように） Ｗｈｙ （なぜ）	震度５弱以上の地震が発生した場合、地区配備隊が参集し、災害対策本部の指示のもと、建物の被害状況を確認のうえ、避難所を開設します。その後、地域の住民で構成される避難所運営委員会等が自宅等での生活が困難となった避難者を受入れますが、円滑な避難所運営を行えるようにするため、平成２８年４月１日に策定した「避難所運営マニュアル」を活用し、市内全域一斉避難所運営訓練を実施します。 **【訓練重点項目】** (1)　避難所開設から始まる避難所運営の流れ、避難所運営委員会各班の役割について、想定される実際の動きを通して、確認する。 (2)　各関係機関が訓練を通し、避難所運営の課題や問題点を共有し、避難所運営体制の向上を図る。 (3)　訓練を通じ、避難所運営委員会が主体的な役割を果たすことを実感したうえでの防災意識の向上を図る。 **【訓練内容】** **開会式　１２：４５～１３：００**　訓練内容を確認します。 **避難所開設に関する各班訓練　１３：００～１３：４５** 各避難所では、避難所運営委員会で７つの班（総務班、名簿統括班、情報広報班、環境衛生班、物資配分班、給食給水班、救護・女性・要配慮者支援班）を組織しており、各班の役割等を把握するための訓練を実施します。 **共通ルール、避難スペースの確認　１３：４５～１４：００** 各班が行った避難スペース、必要物品の確認、受付場所の設営状況を確認し、情報交換を行い、次に行う受付等訓練が円滑に進めるため事前に作成した共通ルールを確認します。 **受付等避難所運営訓練　１４：００～１５：００**

	避難者役と受付役に分かれ、災害時の出来事を想定した「イベントカード」を使って受付の訓練をします。 **炊出し訓練・給水訓練　１４：２５～１５：１５** 配給エリアに集合し、食料、水等の配給訓練をします。 **避難所運営委員会会議　１５：１５～１６：００** 代表者による訓練等についての情報共有を図ります。 **閉会式　１６：００～１６：３０** 各班から訓練の意見等を発表し、情報共有を図ります。
過去の実績	平成２７年度に大根小学校をモデル地区として実施し、平成２８年度から市内全域で実施しています。 平成２９年度は秦野市総合防災訓練と同日開催しました。
今後の取り組み	今回の避難所運営訓練の状況を踏まえ、災害時に混乱しないように体制を強化していきます。
問い合わせ	**１９日にご取材いただく場合は、取材対応可能な避難所をお伝えいたしますので、事前にご連絡いただきますようお願いします。** 防災課防災担当　担当：島田 電話０４６３（８２）９６２１